

# 伊能忠敬測量日数

西暦年月日(旧暦年月日)	忠敬 満年齢	測量 日数	日数 累計	ことがら
1800.06.11(寛政12.閏04.19) ～1800.12.07(寛政12.10.21)	55	180	180	① 奥州街道・蝦夷地東南岸西別(現別海町本別海)まで。忠敬満55歳。『測量日記』の書き出しは、「閏四月十九日、朝五ッ前深川〔黒江町の隠宅〕出立。上下六人、伊能勘解由、門倉隼太〔高橋至時の従臣〕、平山宗平〔タミの兄・平山季忠の孫。平山郡蔵の弟〕、伊能秀蔵〔妙諦の子〕、下人佐原吉助、新に召かかえ候長助なり。此日朝より小雨、昼後に止。深川八幡宮〔富岡八幡宮〕参詣。夫〔それ〕より両国通り浅草司天台〔暦局〕へ立寄、高橋先生〔高橋至時〕にて御酒を給。荷物は深川より直に千住宿へ積送。此日千住宿送別の人〔人名省略。忠敬推奨の優秀な測器製作者、神田時斗師〔神田の時計師大野〕弥五郎・弥三郎の名前が見える〕。千住宿にて不残中食、酒肴を以〔もって〕宴別。千住より草加宿へ二里〇八丁〔八町〕、草加より越谷へ一里廿八丁〔二十八町〕、越谷と並ぶ番駅の大沢宿〔越谷宿は、元荒川右岸の越谷と、左岸の大沢の、二つの町の宿場町〕に七ッ頃着して、中嶋屋善太郎と云う家に止宿〔第1次のみ歩測。第2次からは間縄(けんなわ)、鉄鎖(てっさ)(鉄鎖は毎日、間棹(けんざお)で検定した)を使用]
1801.05.14(享和01.04.02)～ 1801.07.16(享和01.06.06)	56	64	244	②-1 相模・伊豆
1801.07.29(享和01.06.19)～ 1802.01.10(享和01.12.07)	56	166	410	②-2 本州東海岸・奥州街道再測量。緯度1度を28.2里と算出(約110.75km)。緯度35度付近の正確な距離は、約110.95kmなので、わずか0.2%の誤差
1802.07.10(享和02.06.11)～ 1802.11.18(享和02.10.23)	57	132	542	③ 出羽・越後。第3次測量でも、緯度1度は28.2里
1803.04.16(享和03.02.25)～ 1803.11.20(享和03.10.07)	58	219	761	④ 東海・北陸・越後。糸魚川でトラブル
1805.03.25(文化02.02.25)～ 1806.12.24(文化03.11.15)	60	640	1401	⑤ 畿内・紀伊・中国(山陽山陰)沿岸と瀬戸内海の島々。岡山で越年
1808.02.21(文化05.01.25)～ 1809.03.03(文化06.01.18)	63	377	1778	⑥ 四国・大和。伊勢山田で越年
1809.10.06(文化06.08.27)～ 1811.06.28(文化08.05.08)	64	631	2409	⑦ 九州東南部・中国内陸部。豊前小倉・大分で越年(1811.06.28内藤新宿經由深川黒江町帰着らし)
1812.01.09(文化08.11.25)～ 1814.07.10(文化11.05.23)	66	914	3323	⑧ 九州残部・屋久島種子島・中国内陸部。摂津郡山(現大阪府茨木市)・肥前賤津浦(しずのうら。現佐世保市相浦町)・姫路で越年(実際は前日の、1814.07.09板橋經由深川黒江町帰着らし)
1815.03.13(文化12.02.03)～ 1815.03.29(文化12.02.19)	70	17	3340	⑩-1 江戸府内幹線測量。忠敬参加の最後
1815.06.04(文化12.04.27)～ 1816.05.08(文化13.04.12)	70	340	3680	⑨ 伊豆諸島：忠敬不参加(内弟子が測量)
1816.09.29(文化13.閏08.08) ～1816.12.11(文化13.10.23)	71	74	3754	⑩-2 江戸府内細測：忠敬満71歳、孫忠論11歳を伴いときどき出勤
				=== 約15年(あしかけ17年) 合計 3754日間(天測1404日) ===